



## 東京赤坂ロータリークラブ

NO. 1328 / 2015. 07. 17

例 会/ANA インターコンチネンタルホテル東京

Tel 03-3505-1111

事務局/〒107-0052 東京都港区赤坂 2-19-8

赤坂 2 丁目 アネックス 3F

Tel 03-3505-5976

Fax 03-3505-6004

http://www.akasakarotary.com/

### 東京赤坂ロータリークラブ週報 Weekly Report

2015～2016 年度クラブテーマ  
会長 橋本 年男

「輪になろう、つなげる想い、つながる奉仕」  
Build friendship, Join a heart, Service together.

●本日の例会/ 2015 年 7 月 17 日 第 1357 回  
卓話：『一流の「仕事師」に求められる資質』  
静岡理工科大学教授 志村 史夫 氏

●前回報告/ 2015 年 07 月 10 日 第 1356 回例会

卓話：  
『議員に学ぶ人心掌握術』  
政治キャスター  
佐野 美和 氏  
(紹介者：佐久間憲一会員)



#### 広報委員会：(入沢委員長)

7 月号ロータリーの友の記事を 3 点ほどご紹介いたします。皆様是非ご覧ください。

①P84 にある「わがまち そしてロータリー」では富山県富山市のご紹介をしております。4 月の楽しい親睦旅行を思い出しました。

②P75 の卓話の泉にある「肥満について」の記事によると 1 日 2 回の腕立て伏せで内臓脂肪が減少するとのことでした。早速実行しております。

③P89 「南の島の何もなく豊かな暮らし」は RI2600 地区北信第一グループ IM・会員セミナー基調講演の要旨です。大変発信力のある記事だと思います。

#### 青少年奉仕：(穂苅リーダー)

7/4 ホストクラブ・ホストファミリー会議の報告です。当クラブからは熊本カウンセラー、第一ホストファミリーの浅沼様、東京南 RC 田中守彦さん、私(穂苅リーダー)が参加しました。今後の手続き、日程の確認を行いました。当クラブが引き受けるルイスさんは 8/15 に来日します。空港へは会長、カウンセラー、第一ホストファミリーが迎える予定です。ホストファミリーの方々には大きな負担をおかけいたしますが、クラブ全体でサポートしていければと思いますので、皆様の御協力をお願い致します。

#### 幹事報告：

①本日ボックスヘロースター(名簿)の中身をお配りしました。お手持ちのバインダーへファイルください。

②10/26 ポリオチャリティオークションディナーコンサートのチラシをボックスへ配布いたしました。是非ご覧ください。

③8/23 「全国ロータリーポリオプログラム研修セミナー」の御案内が地区 R 財団より届きました。

8/23(日)10:00～16:00 まで増上寺の講堂で開催。登録料は 8,000 円です。

④9/4 13:00 ～地区より「第 13 回日韓親善会議開催」の御案内が届きました。グランドプリンスホテル新高輪「飛天の間」登録料 15,000 円。7/17 締切です。



07月10日(金) / 17件 34,566円  
累計 95,566円

#### 多額の寄付を有難うございました。(敬称略)

浅川博道(東京みなと RC)/橋本年度の門出を祝して。西田前会長の件ではお世話になりました。柴本元会員の会葬者より/柴本さんの御冥福を祈って。橋本年男/浅川元ガバナー補佐ようこそ!!佐野様、本日の卓話楽しみです。よろしく願いいたします。柴本さんの御冥福をお祈りいたします。玉ちゃん新撰組始末記の五代隊長役お見事でした。熊ちゃんニコニコご苦労様。田村昭二/久しぶりに晴れています。熊本さんニコニコご苦労様です。関陽一/晴れましたね!佐野様、本日の卓話楽しみにしております。熊本さんニコニコお疲れ様です。尾関武男/先日の火曜会、20名の参加おおいに盛り上がりしました。長谷川さんご苦労さま。小原健/軽妙、洒脱、どんなことでも軟らかく考える人格者—柴本さんの御冥福をお祈りします。西澤民夫/佐野さま本日はよろしく願いいたします。土屋東一/熊本さんニコニコご苦労さまです。清水寛/岩上さん、昨日は誕生日祝いしませんでした。熊本さんニコニコご苦労様。佐藤仁/晴れると気持ちよいですね。熊本さんニコニコお疲れさまです。島本幸治/佐野様、本日の卓話楽しみにしております。石井達/佐野さまの卓話楽しみです。熊本さん足が痛い中ニコニコお疲れ様です。長谷川毅/先日の火曜会は20名の出席で大盛況に終わりました。皆様からも貴重な意見が出て今後の活動に生かしていきたいと思います。皆様のご出席ありがとうございます。佐野様本日の卓話楽しみにしています。張宇/久しぶりの晴れる天気ですね。この間テレビで「軍艦島」の話が報道され世界遺産となります。今日は佐野先生の卓話を楽しみにしています。佐久間憲一/佐野さん本日の卓話をよろしく願いいたします。熊本誠司/先日の火曜会では痛風で歩くのも大変でしたが、今朝はだいぶ楽になりました。佐野様卓話を楽しみにしています。

出席報告 : 会員 43 名 / 出席 28 名 欠席 15 名

ゲスト : 佐野美和(卓話)

浅川博道(東京みなと RC)、有村茂樹(鹿児島東 RC) 計 3 名(順不同・敬称略)

## 親睦だより（7月火曜会報告）

お陰様で新体制になっての初めての火曜会は会員 20 名の出席となり大盛況に終わりました。出席者一人一人からも貴重な意見がたくさん話され火曜会の目的の一つでもあります。会員間の関係を有意義な時間の中で深める事が出来たと思います。さらに火曜会を通じ会員増強の場として大きな場となる様にこれからは皆様のご協力のもと開催させて頂きたくご指導下さいます様何卒宜しくお願い致します。（長谷川 記）

出席者：橋本年男、長谷川毅、入沢頼二、石井達、熊本誠司、小林博茂、西澤民夫、大日方真、小原健、尾関武男、朴賛浩、佐久間憲一、高須康有、田村昭二、浦平典子、土屋東一、吉田用親、魏芝、張宇、辻綾香 計 20 名



## R I 会長メッセージ（7月）

私たちはロータリーで、善き行いを目指しています。人類に大きなプレゼントを残した人びとを尊敬しています。大勢の人に人間の尊厳を与えたアブラハム・リンカーン。疎外された人たちに慈悲の心を捧げたマザー・テレサ。虐げられた人たちに平和的な変化をもたらしたマハトマ・ガンジー。彼らは皆、自らが世界へのプレゼントとなって、自分自身を捧げました。私たちはこれら歴史上の人物から刺激を受け、模範とすることができます。この人生において、自分が大切にする責任をおろそかにせずに、どうしたら自らを世界に捧げられるだろうか、と。今年度のテーマを考え



ているとき、ヒンドゥー教を通じて私が学んだある教訓を思い出しました。それは、スダマの物語です。

貧しい少年スダマは、神の化身として王家の一族に生まれたクリシュナの親友でした。

2 人の少年は、成長するにつれて少しずつ疎遠になり、クリシュナが軍を率いる名高き王となった一方で、村人スダマはつましい暮らしをしていました。

何年も経った頃、スダマは生活に困り、子どもに食事を与える十分なお金さえなくなっていました。妻は、幼い頃に親しくしていたクリシュナに助けを求めるよう提案しました。最初は躊躇していたスダマも結局同意し、手ぶらでは申し訳ないと、家族の残りわずかな食糧のお米を布に包んで持っていきました。

スダマを見たクリシュナは大喜びし、親切に愛情をもって迎えました。その高貴な生活ぶりに圧倒されたスダマは、丁寧に包んできたお米さえ粗末に思えて差し出すことができません。クリシュナは「何を隠しているのか」と尋ねました。

布を開いて中の米を見ると、クリシュナは喜んでこれを食べ、思い出話に花を咲かせました。数時間後、変わらぬ友情に感激したスダマは、助けをお願いすることをすっかり忘れてクリシュナの元を去りました。帰り道、スダマは、当初の目的を忘れていたことに気づき、最後の食糧であったお米もクリシュナと一緒に食べ尽くしてなくなっていました。

お腹を空かせた子どもたちが待つ家に帰るのは至極苦痛でした。しかし、自宅に着くと、そこにあったのは、彼が出たときと同じ小屋ではなく、美しい家でした。家の前にはきれいな服を着た家族が立っています。十分な食事を済ませた家族は、スダマを出迎えようと待っていました。

クリシュナには、スダマがありったけの米をプレゼントしてくれたことが分かっていたのです。そのお返しに、クリシュナは、スダマが必要とするすべてを与えました。この逸話の教訓は、受け手にとって大切なのは、その物質的な価値ではなく、贈り主の心がどれだけ込められているか、ということです。スダマの物語のように、私たちがロータリーを通じて捧げることは、いずれは自身のためにもなるのです。私たちには選択肢があります。授けられたものを自分の元だけにとどめるか、またはそれを生かして自らが「世界へのプレゼント」となるか、です。

この機会を二度と訪れません。本ロータリー年度も一度きりです。今を逃さずに生かし、「世界へのプレゼントになろう」をテーマに活動してまいりましょう。

2015-16 年度会長 K.R. ラビンドラン  
(<https://www.rotary.org/myrotary/ja> より)

●次回予告 / 2015 年 7 月 24 日(金) 第 1358 例会  
卓話：(社団) 日本ミャンマー協会理事長代行  
弁護士 仙谷 由人 氏